

## 慶應義塾大学大学院 文学研究科 修士課程

### 英米文学専攻

#### 3つのポリシー

##### 【ディプロマ・ポリシー】

英米文学専攻では、課程修了時に学生が身につけるべき能力として下記のことを定め、学則に従って修了要件を満たし、修士論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、修士（文学）の学位を与える。

1. 英語学研究、英文学研究ならびに米文学研究の分野において、研究領域全般に関する専門知識を身につけ、外国語（英語）を使用して専門的なリサーチを展開し、その成果を母語および英語で発表できる。
2. 英語学研究、英文学研究ならびに米文学研究、あるいは関連分野の研究を内容とした修士論文を英語で執筆し、さらに、修士論文のテーマに関連する領域については包括的で深い専門知識を有し、その領域の研究に貢献することができる。
3. 英語を通じて異文化の歴史的、文化的特性を理解し、他者と交流を持ち、重要な課題を認識し、それを解決していくための議論や実践に資するリサーチ能力、プレゼンテーション能力を身につけていることで、高度な異文化リテラシーを備えた社会人、研究者、教育者として国際社会に貢献できる。

##### 【カリキュラム・ポリシー】

英米文学専攻では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成する。

1. 英語学、英米文学の領域において、英語学、英語史、中世英文学、近代英米文学、現代英米文学、米文学を対象とした講義演習科目群を設置するとともに、文芸批評史、古典文学、言語学、比較文学等の関連科目も開講することで、研究を展開するために必要な専門知識、リサーチ能力、一次資料分析能力、思考力および議論構成力を養成する。またこれらの科目の一部を英語で開講することで、英語によるプレゼンテーション能力を養う。
2. 修士論文の執筆を可能とするため、指定された指導教員が中心となって個別論文指導を行い、研究テーマについての知識を深めるとともに、高度なリサーチ能力および英語による論述力を養う。また、専攻全体の修士論文中間報告会等の開催を通じて、複数の教員から指導を受ける機会を提供する。

- 異なる環境を通じて高度な異文化リテラシーを身につけるために、文学研究科や慶應義塾大学国際センターによって提供される留学プログラム、さらには学内外の各種留学制度などを活用した海外の大学院への修士学位取得を目的とした長期留学、単位取得や専門的なディプロマ取得を目的とした短期留学を推奨する。

## 【アドミッション・ポリシー】

英米文学専攻修士課程では、次のような資質を持つ学生を求めている。

- 卒業論文執筆や専門科目の履修等を通じて自身の専門領域について理解し、英語学、英文学、米文学の領域全般についての基礎知識を有している。
- 大学院において、何をどのような方法で研究したいのかという研究計画について自ら考え、母語ならびに英語でまとめることができる。
- 英語の一次資料および二次資料を正確かつ批判的に読むことができる基礎的な読解力、及び学術的内容を英語で論じることができる基礎的なアカデミックなライティングの能力を身につけている。
- 研究資料を講読するための基礎的な第2外国語の能力を有している。
- 修士課程修了後の社会人、研究者、教育者としてのキャリアについて、積極的に考えている。